



# 四條の風学園 縄手小学校だより ⑧

No.4 -

東大阪市立縄手小学校 校長 大山 博章

近畿地方も、梅雨入りし、じめじめと湿気を感じる季節となりました。気分のだるさや熱中症にも注意が必要です。子どもたちと同時に保護者の皆様の体調はどうでしょうか。保護者の方が病気になってしまうとご家庭全体が暗い雰囲気になってしまいます。どうかご家族全員の健康にご留意ください。

5月から6月にかけては、校外学習や社会見学などの学校行事、また、四條の風フェスタなどの地域行事があり、それらの教育活動を通し子どもたちが、また一つたくましく成長したと感じています。また、行事等にご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。

さて、今年度から全面実施されている「特別の教科道徳」について、今回は少し説明させていただきます。道徳の教科化の背景には、深刻ないじめの本質的な問題に向き合うということがあります。その対応のために、従来の道徳とは違った体験的な学習をはじめ、道徳的価値に迫る読み物の活用や道徳的価値に関する問題解決的な学習など、多様な指導方法を取り入れた授業を行うことが求められています。

たとえば、道徳の教材で「新型インフルエンザの流行で楽しみにしていた行事が中止になり、感染した友達に『お前のせいで、行事が中止になってしまった』とつい責めてしまった。」という読み物があります。教材ですが、社会ではまあることです。授業では、この問題場面について「自分ならどうするか」という観点から道徳的価値と向き合うとともに、異なる意見をもつ友だちと議論することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考えるという学習をします。いじめにも通じる事態が起きないための学習ですが、よりよく生きるための基盤となる道徳性を育むことにつながる学習です。

そして、本校でもいじめ問題の防止、早期発見・対応に取り組みますが、学校行事や生活指導など学校のすべての教育活動において道徳性に視点をのいた教育を進めていきます。

知・徳・体をバランスよく育てるために、学校・家庭・地域等が共通の認識に立ち、子どもの指導・助言・支援に当たることができるようにご協力をお願いします。

## 【6月 四條の風フェスタの様子】



## 【6月 観劇 劇団影法師】



6月3日(日)天候にも恵まれ、四條の風フェスタが行われ、子どもたちは模擬店でゲームなどをして楽しみました。

6月6日(水)全校児童が体育館で「西遊記」などの影絵を観賞しました。